

忘れていませんか？

FAXのセキュリティー。

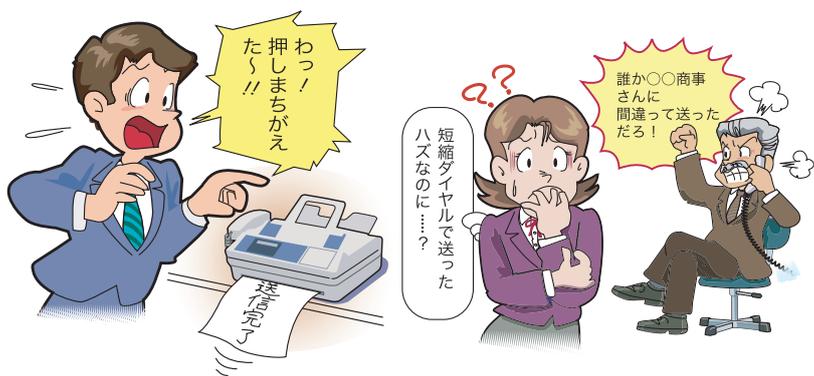


# FAXのセキュリティーは対策済みですか？

# ムラテックならオフィスのル

## 情報を安全・確実に伝え、しっかりガードする

ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤル、さらに複数の宛先に一度に送信できる同報送信など、簡単で便利なファクス送信では、ちょっとした操作ミスにより間違えた相手先に送信してしまうなどの恐れがあります。



そんな時には

### ダイヤル2度押し機能

テンキーからの入力だけでなく、ワンタッチダイヤルや短縮ダイヤルから指定した相手先FAX番号を再度入力することで、キーやボタンの押し間違いによる誤送信防止に大変効果があります。

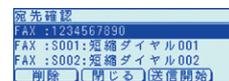


スタートボタンを押すと、再入力を促します。

同じ宛先が入力されないと、送信できません。

### 同報・グループ送信禁止設定

同報機能を利用できないようにしたり、プロテクトコードによりグループ送信機能の利用を制限することで、操作ミスなどによる誤送信を低減します。さらに同報送信の際は、指定した宛先を画面上で再確認できます。



画面上で同報の宛先を確認できます。

### テンキー・短縮ダイヤル禁止設定

FAXの運用ルールにあわせて、テンキーからの番号入力やワンタッチダイヤル・短縮ダイヤルからの宛先入力を個別に利用できないように設定できます。

「もう1枚送り忘れていた!」という時など、直前に送信したFAX番号を呼び出せる「リダイヤル機能」は大変便利ですが、第三者に相手先の番号を特定されてしまう恐れもあります。



そんな時には

### リダイヤル防止

リダイヤル機能を利用できないようにしたり、プロテクトコードにより利用を制限することで、操作ミスによる誤送信や、悪意的なFAX番号の利用をブロックできます。



パスワードにより管理者だけが登録や変更可能になります。

短縮ダイヤルの登録や、グループ登録、ファクス転送(ファクスワープ機能)など、管理者だけが変更できるようにプロテクトが可能です。

個人的な相手先の登録や、削除、変更などプロテクトコードを設定して、権限を制限することで、予想外の誤送信を低減できます。



会員さんのグループ登録、さっき変更したんだけど...

### パスコードで閉域送信/受信

「閉域送信」を設定すると、同じ機能を持つFAX間で同じパスコードを設定した場合のみ、ファクスの送受信が可能になります。パスコードが一致しない場合は、通信が中断されるので相手先にはファクスは送信されません。ファクスを受け取る相手が限定されるので、番号の入力ミスによる誤送信を防ぐことができます。

※この機能を利用するには、受信側もセキュリティー機能を導入し、同じパスコードを設定する必要があります。

### IDチェック送信

入力したファクス番号の下4桁と相手先番号の下4桁を照合し、一致した場合のみ送信します。FAXの発呼情報(トーン:音の高さ)をTAや交換機が正確に認識できない場合に威力を発揮します。(初期設定:OFF)

※相手先FAXに正しいIDが登録されている必要があります。

### 通信管理レポート/日報プリント

従来は通信記録のログが一定量蓄積されるか、1通信ごとに出力するしかなかった「通信管理レポート」を日報として1日ごとに出力することができ、毎日の通信管理が簡単に行えます。また、休業日や出力を忘れた時も、日報プリントを指示すれば、出力されていない分も合わせてプリントアウトします。

# ールに沿った柔軟な設定の組合せが可能です。

## いつ、誰が、どこへ、何を送ったのか？ FAX送信のトレーサビリティを高める

### ●利用者を特定する → 誰が

本体からのFAX送信時にインフォメーションサーバーのユーザーとしてログインすることで、「誰が」送信したかを特定することができます。



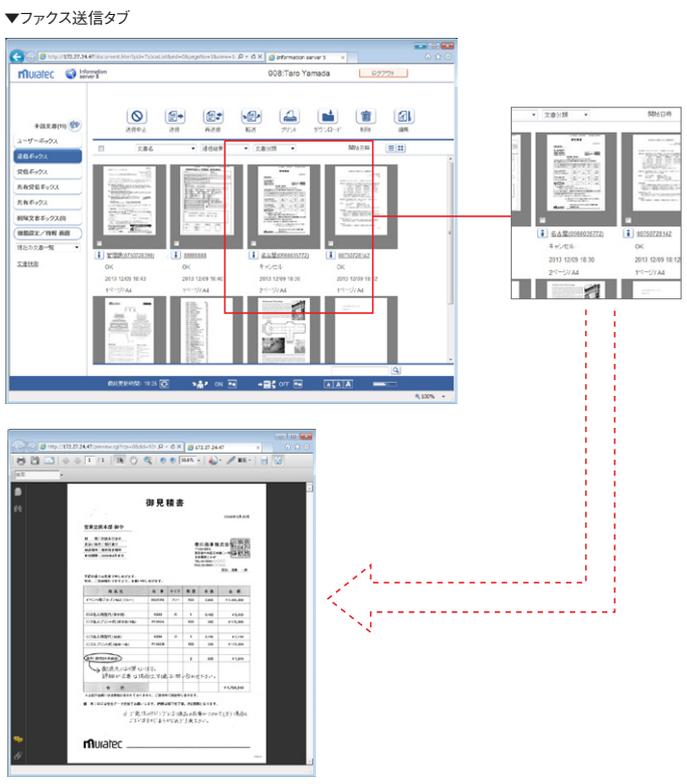
### ●日時と送信先を特定 → いつ・どこへ

ブラウザから送信タブを確認すれば、本体だけでなく、PCから指示したFAXの送信履歴も確認できます。



### ●送信内容を画像で確認 → どんな内容

ユーザーの送信タブに表示された送信済み宛先をクリックすると、送信した画像を閲覧することができ、内容を確認できます。



### パソコンに自動保存できます

バックアップ設定によりユーザーごとにフォルダーに自動保存されます。

複合機本体やPCからのファクス送信画像をユーザーごとにフォルダーへ自動保存できます。過去の送信内容もユーザーごとに確認できます。

Is5ならフォルダーにバックアップされた過去のFAX送受信も、同じブラウザ画面で切替えて表示可能。誤送信の追跡調査に役立ちます。

▲送信先や送信日時などの情報がファイル名となります。

▲ブラウザで確認

### ●専用サーバーは不要です。

複合機本体とネットワーク接続されたPC以外に専用サーバーやシステムを導入する必要がなく、新たな経費やメンテナンス面での費用を抑えながら運用できます。

## ■主なFAXセキュリティ機能

※機種により、搭載機能が異なったり、オプション設定になっているものがあります。

テンキーダイヤル2度押し	閉域送信／閉域受信(パスコード通信)	各機能プロテクト <ul style="list-style-type: none"> <li>●短縮送信プロテクト</li> <li>●テンキーダイヤルプロテクト</li> <li>●ワンタッチ送信プロテクト</li> <li>●グループ送信プロテクト</li> <li>●手動送信プロテクト</li> <li>●リダイヤルプロテクト</li> <li>●Is短縮指定プロテクト</li> <li>●メール履歴参照プロテクト</li> <li>●メール再送プロテクト</li> <li>●プログラムワンタッチ送信プロテクト</li> <li>●Fコード送信プロテクト</li> <li>●その他</li> </ul>
短縮ダイヤル2度押し(Is短縮含む)	IDチェック送信	
ワンタッチダイヤル2度押し	日報プリント(通信日報)	各登録プロテクト <ul style="list-style-type: none"> <li>●短縮ダイヤル登録プロテクト</li> <li>●ワンタッチダイヤル登録プロテクト</li> <li>●プログラムワンタッチダイヤル登録プロテクト</li> <li>●グループダイヤル登録プロテクト</li> <li>●Fコードボックス登録プロテクト</li> <li>●ファクスワープ先登録プロテクト</li> <li>●原稿蓄積設定プロテクト</li> <li>●禁止設定登録プロテクト</li> <li>●お気に入りタブ登録プロテクト</li> <li>●その他</li> </ul>
同報送信禁止	本体Isユーザーログイン	
宛先確認(同報宛先含)	送信画像アーカイブ(画像のPC保存)	
セキュリティ受信	各リスト出カプロテクト	

お問い合わせ先：



伝え続けて40年、さらに速く、美しく——

私たちは「伝える」技術で、豊かなコミュニケーションの創造に貢献します。

「dex-180」  
電電公社(現NTT)ファクシミリ型式認可第一号

- 本カタログに記載されている製品名または会社名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。
- 商品の仕様、機能は改良のため予告なしに変更する場合がありますので、予めご了承ください。

〈ご利用にあたって〉●ファクスによる海外通信をご利用になる場合、海外の回線の状況等によっては正常な通信ができない場合がありますので、ご注意ください。●本製品は、IC等電子部品を採用しているため、テレビ、ラジオ、アンプ、スピーカーボックス、電気こたつ、電子レンジなどのそば等電磁波や磁気の発生する機器のそばでのご使用は、雑音が発生したり、通話が途中で切れる等の原因となる場合がありますので、避けてください。

### ⚠ 安全に関するご注意

- ご使用の際は、取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
- 水・湿気・ほこり・油煙等の多い場所には設置しないでください。火災故障・感電などの原因になることがあります。

村田機械株式会社 情報機器事業部  
ムラテック販売株式会社

本社／販売本部  
〒612-8686 京都市伏見区竹田向代町136  
TEL. 075(672)8136

<http://www.muratec.jp/ce/>

製品の仕様・操作方法やアフターサービスに関するご相談は  
インフォメーションセンター

0120-610-917

※電話番号をお間違えないようにご確認の上おかけください。

●受付時間 月～土曜日(日・祝日は休ませていただきます。)  
平日 9:00～18:00 土 9:00～17:00